



# 石神井南中学校 学校だより

令和 3年度 第10号  
発行日 2月28日(月)  
練馬区立石神井南中学校  
校長 田邊 克宣

## 「相手の顔を思い浮かべながら」

校長 田邊 克宣

3月4日に開幕を控えた北京パラリンピックへ向けて、各選手も最後の調整に入っているようです。先に閉幕した北京オリンピックでは、大会内外の問題もいろいろと取り沙汰されていましたが、個々の選手たちがそれぞれ見せてくれた、競技への情熱やその取組姿勢から、見習うべきスポーツマンシップがたくさんありました。

個人的には、カーリング女子の日本代表の戦いぶりが印象に残っています。

予選リーグ最終戦でスイスに敗れた後の、意気消沈した記者会見会場でもたらされた準決勝進出決定の報。対スイス戦で雪辱を果たした後、決勝戦では最後にコンシードの握手を求め、銀メダルが確定しました。この間、幾度もピンチの場面を迎えながら、チームが一丸となって最後まで戦う姿に感銘を覚えながら観戦していましたが、一つ気になったことがありました。

それは、前回の平昌オリンピックの年に流行語大賞にもなった「そだねー」という言葉が聞かれないなどということです。後で知ったのですが、今大会でこの言葉をあえて使わないようにしたとのこと。代わりに「うん！」という元気な返事が多かったように思います。

カメラの切り取った映像だけから判断して断定することは絶対にできませんが、報道を見る限り、日本チームは、互いに温かいコミュニケーションをとることを意図的に実践していたようです。

オリンピックという世界の檜舞台での戦いには、通常感覚では及びもつかない精神的プレッシャーがかかることでしょう。午前中の試合から、午後を挟んで、夜中までかかる二戦目では、どれだけ体力を消耗することでしょう。勝利を目指して極限の緊張にある中、選手一人一人のもてる力を引き出すことに、あの穏やかな声掛けがどれだけ効果的であったことか。

失投してもすぐに仲間から「いーよー」と声がかかる。「ダイジョブ」という声を聞いて、すぐに気持ちを切り替えて次のプレーに臨む、その繰り返しが最後まで途切れることなく、火花を散らし鎬を削る競技でありながら、どこか安心しながら観戦できました。

翻って現状では、2年間にわたる新型コロナウイルスとの戦いで、対面の機会が極端に減り、インターネットを介したやりとりでは、その匿名性も相まって、ややもすると相手（見ず知らずの他人のみならず、ふだん顔を合わせているはずの人にも）に対して、攻撃的であったり、否定的であったりする言葉を投げつけるような風潮が広まってしまっているようです。

今年度、新教育目標の1番目に掲げたのは、「自分と他者を共に認める人」です。子供たちには、多様性の社会にあって、自分も、他人も、その存在を大切にされる社会を創る大人となってほしい。そのためには、会えない時でも互いの顔を思い浮かべ、これを言ったらどんな顔をするだろうということを常に想像しながら、自らの発する言葉をよく吟味し、キーボードに打ち込むという手順の実践が必要です。これは何も子供に限ったことではありません。むしろ、子供の手本となる大人にこそ必要な心構えではないでしょうか。

もちろん、学校教育における課題については、合理的根拠に基づいた批判や建設的意見に対しては、真摯にお答えし、きちんと対応策を講じる義務があると考えております。また、今後の教育活動においても引き続き、生徒、そのご家族、教職員等、すべての人の健康を第一に考えて判断してまいります。

ご家庭、地域におかれましても、自らの健康を守ることが、とりもなおさず社会を健康に保つというつながりを改めて意識ながら、残りひと月となった今年度を、共に、大切に過ごしていきましょう。

## 生徒の活躍を紹介します

- ★東京都「防災標語コンクール」優秀作品 1年3組 石崎 結万 さん
- ★練馬区「いじめ防止シンボルマーク」入選 2年3組 中山 怜奈 さん
- ★第55回東京都中学校アンサンブルコンテスト 銀賞 吹奏楽部
- ★校内書初め展金賞
  - (1年)1組 高木 杏菜 さん 2組 松原 由奈 さん 2組 宮島 芭奈 さん
  - (2年)2組 加藤 結子 さん 2組 水井 珀秋 さん
  - 3組 中島ちひろさん 4組 千葉 菜々子 さん
  - (3年)1組 福渡 瑞季 さん 2組 榎 結衣 さん
  - 3組 張 曦文 さん 3組 堤 優依 さん
- ★2021年度「届けよう、服のチカラ」プロジェクト 感謝状 生徒会

石崎さんが考えた防災標語が記載されたのぼり旗（本校廊下）



## オンライン授業

コロナウイルスの感染予防に関連して学校を休んでいる生徒に向けた、授業のオンライン配信を、2月12日から各学年で実施しています。ICT機器や区の通信環境等の事情から、全ての教科、全ての授業において授業を再現することはできませんが、1日3～4教科の授業を配信しています。自宅から参加している生徒の様子は真剣そのもので、一生懸命話を聞き、ノートをとっている姿が見られました。



オンライン授業のようす（1年生）



## 作品展示会（文化発表会）について

昨年10月から延期としていました文化発表会につきましては、先日保護者の皆様にお知らせしましたとおり、3月4日（金）に作品展示会として、規模を縮小して実施します。

新型コロナウイルス感染予防のため、保護者およびご来賓の皆様には、参観をご遠慮いただき、後日学校ホームページにて公開をいたします、画像にてご鑑賞いただきますよう、お願いいたします。

写真：プログラム表紙絵（3年3組 土田 葵さん）

## 新型コロナウイルス感染予防について

保護者の皆様には、生徒の発熱、風邪症状等の発症時はもちろん、ご家族の発熱等に際して生徒の登校を見合わせていただく等、感染予防へのご協力に、感謝申し上げます。

学校においても、マスク着用、教室等の換気、手指消毒の徹底はもちろんのこと、マスクをしてもなお感染リスクの高い学習活動を避けるなど、今後も感染予防に継続して努めてまいります。

ご家庭におかれましても、引き続きご協力くださいますよう、お願いいたします。